

あらゆる反動・妨害のりええ 5.4サミット 戦争会議粉碎肉争に 起ころ

日刊 動労千葉

86. 5. 2

No. 2230

国鉄千葉動力車労働組合

千葉(鉄電)動力車会館

四・二五当局申し入れに対する 抗議 声 明

国鉄当局は、四月二十五日、国鉄千葉動力車労働組合に対し、動労千葉が組織決定にもとずき取り組んでいる「天皇在位六〇年式典粉碎・中曽根内閣打倒四・二九全国総決起集会」および「東京サミット粉碎・中曽根内閣打倒五・四全国総決起集会」への参加について「

集会等に参加し、国民の批判を招くような事態を生じしめるならば……」 「……厳正な措置をとらざるを得ないことを警告する。」という「申入書」(千総労第一五号)を發出してきた。

そして、四月二十六日以降、全国の職場に同趣旨の「警告文」が掲示され、年休を一切認めない攻撃がされている。これは、全ての労働者・人民が憲法によって保障されている「思想および良心の自由」(第十九条)「集会、結社および言論、出版その他一切の表現の自由」(第二十一条)を踏みにする違法行為であり、労働組合の団結権に対する支配介入であり、断じて容認することはできない。

そもそも、「四・二九」および「五・四」集会およびデモ行進は、四八名にも及ぶ全国の心ある人士が呼びかけ人となり「反動・中曽根内閣打倒」をかかげて開催するものであり、労働組合はもちろん、この趣旨に賛同する全ての労働者・人民が自主的判断をもってこの集会に参加することに何らの問題もないことは明白である。

今日、反動・中曽根内閣によって、改憲・軍事大国化へ向けた「戦後政治の総決算」攻撃が、臨調―行革攻撃を中心に展開されており、「行革の目玉」とされ「三人に一人」の首切り攻撃にさらされている国鉄労働者がこの集会に結集することは、むしろ当然と言わなければならない。

この動労千葉に対する「申入書」および職場での掲示、年休規制等攻撃は、反動・中曽根内閣が、全公務員、政府関係機関の職員に対し「職員の服務規律の確保について」なる通達を出したことに依拠して出されるものであり、戒厳令的過剰警備と併せ、「天皇式典」および「東京サミット」反対の労働者・人民の声を力づくで圧殺しようとする攻撃である。

自らの反動政策に反対する労働者・人民の当然の闘いを分断し孤立化させて解体するために、「過激派」「極左暴力集団」などのレッテルをはり、「国民の批判」を言いたて、あたかも集会に参加すること自体が処罰の対象であるかのような恫喝にいま屈するならば、日本の労働者・人民の未来は暗黒である。

われわれは、いかなる恫喝、弾圧にも屈せず、国鉄分割・民営化―十万人首切り阻止へ向けて、十一月・第一波、二月第二波の闘いに続く、第三波、第四波の闘いを必ず貫徹する決意をこめて、「中曽根打倒」をかかげた「四・二九」「五・四」集会に結集し、整然かつ毅然たる行動をかねてつする。

もしかりに、当局が、かかる正当な労働組合活動に不当にも介入し、処分等を強行するようなことがあるならば、われわれは、重大なる決意で、断固として反撃にたつことを明らかにするものである。

一九八六年四月二十八日

国鉄千葉動力車労働組合



▲空前の戒厳令弾圧うち破り、勝利した天皇式典粉碎=4.29肉争。(於東京)
▲何か「温かく迎えようだ!」リビア侵略の張本人共の戦争への会議など「絶対」に許すものか!

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

資料

不参加警告に抗議声明

千葉 動労 天皇式典の反対集會で

【千葉】国鉄千葉動力車労働組合(中野洋委員長、千百人)は二十八日、国鉄当局が二十五日に「天皇在位六十周年式典粉碎・中曾根内閣打倒」の式典粉碎・中曾根内閣打倒五・四全国総決起集會と「東京サミット粉碎・中曾根内閣打倒五」の式典粉碎集會への不参加警告を出した。組合は「厳正な措置を講じて警告」の抗議書を出した(以下)と抗議を述べた。

【千葉】国鉄千葉動力車労働組合(中野洋委員長、千百人)は二十八日、国鉄当局が二十五日に「天皇在位六十周年式典粉碎・中曾根内閣打倒」の式典粉碎・中曾根内閣打倒五・四全国総決起集會と「東京サミット粉碎・中曾根内閣打倒五」の式典粉碎集會への不参加警告を出した。組合は「厳正な措置を講じて警告」の抗議書を出した(以下)と抗議を述べた。

4/29(朝日)

【千葉】国鉄千葉動力車労働組合(中野洋委員長、千百人)は二十八日、国鉄当局が二十五日に「天皇在位六十周年式典粉碎・中曾根内閣打倒」の式典粉碎・中曾根内閣打倒五・四全国総決起集會と「東京サミット粉碎・中曾根内閣打倒五」の式典粉碎集會への不参加警告を出した。組合は「厳正な措置を講じて警告」の抗議書を出した(以下)と抗議を述べた。

参加にも検問の壁 皇居

国技館周辺「戸を開けるな」

4/30(朝日)

【東京】天皇在位六十周年記念式典があつた二十九日、東京都心は三万七千人の分厚い壁に覆われた。天皇誕生日を祝う一般参観の人たちは、二重、三重の検問をくぐり、国技館近くの皇居へ、記念式典の会場へ向かう。皇居は、警備が厳格で、皇居から国技館まで約五キロの沿道でも、通りに面したビルは数日前から入居者だけでなく、建物の屋上から地下室まで完全に調べられた。休日デモ隊や、前日中に最後のチェックをしてシャッターを封印した。

皇居から国技館まで約五キロの沿道でも、通りに面したビルは数日前から入居者だけでなく、建物の屋上から地下室まで完全に調べられた。休日デモ隊や、前日中に最後のチェックをしてシャッターを封印した。

厳戒

【千葉】国鉄千葉動力車労働組合(中野洋委員長、千百人)は二十八日、国鉄当局が二十五日に「天皇在位六十周年式典粉碎・中曾根内閣打倒」の式典粉碎・中曾根内閣打倒五・四全国総決起集會と「東京サミット粉碎・中曾根内閣打倒五」の式典粉碎集會への不参加警告を出した。組合は「厳正な措置を講じて警告」の抗議書を出した(以下)と抗議を述べた。



千総労第15号 昭和61年4月25日

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野洋 殿

千葉鉄道管 草木

申入書

従業員の服務規律及び職場外における職員としての品位の確保については、従来からその趣旨の周知徹底を図ってきているところである。

伝えられるところによれば、貴組合は、「4.29天皇式典・5.4 東京サミットを粉碎するための全国総決起集會」への参加について、関係職場の組合員に対し動員の要請を計画している模様であるが、新事業体への再生に向け全職員が一丸となり取り組まなければならない重要な時期において、「天皇式典・東京サミット粉碎」等と称して、国家的重要な式典及び会議に対して、かりにも貴組合員が、一部極左暴力集団の過激な反対闘争も予想される集會等に参加し、国民の批判を招くような事態を生ぜしめるならばその行為はこれまでの労使の努力に対する国民の評価を一挙に水泡に帰さしめることとなる。

貴組合員においては、現在国鉄のおかれている状況を十分認識し、違法な行為に参加することのないよう、又このような行為があった場合は、厳正な措置をとらざるを得ないことを警告する。

4.29集會と5.4集會への参加禁止を“警告”してきた反動局長=草木陽一の憲法違反文書

許すな

「天皇サミット」国家的行事の名を出せば、何をやってもよいというのか!

暗黒と戦争への中曾根政治を、今こそうちくたそう!

【東京】天皇在位六十周年記念式典があつた二十九日、東京都心は三万七千人の分厚い壁に覆われた。天皇誕生日を祝う一般参観の人たちは、二重、三重の検問をくぐり、国技館近くの皇居へ、記念式典の会場へ向かう。皇居は、警備が厳格で、皇居から国技館まで約五キロの沿道でも、通りに面したビルは数日前から入居者だけでなく、建物の屋上から地下室まで完全に調べられた。休日デモ隊や、前日中に最後のチェックをしてシャッターを封印した。

